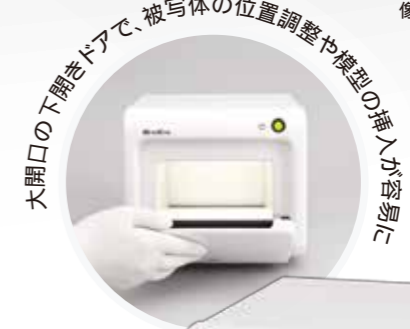


シンプル操作とスピーディーな解析で咬合接触状態を可視化 多彩な機能でより詳しく、わかりやすく。

Shoot(定点撮影)モード
模型などを通常の写真画像として定点撮影が可能。関連画像をバイト画像と一緒に管理できます。



アイコンをワンクリックして咬合採得した印象体を撮影。

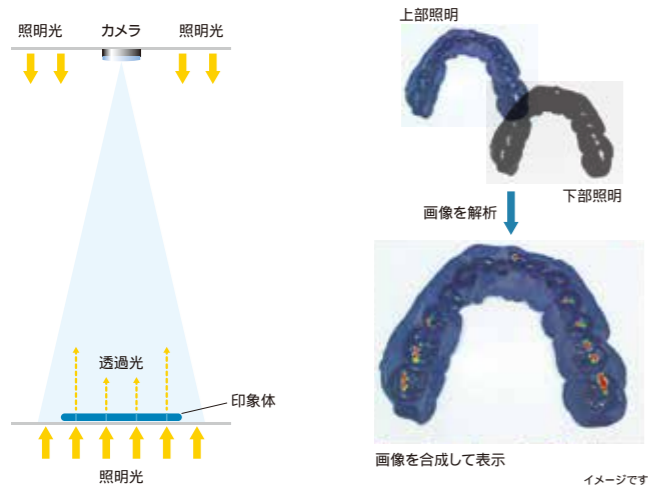
咬合接触状態を解析し、可視化・数値化する歯接触分析装置「ジーシー バイトアイ」。

咬合接触の結果に応じ、色と面積・点数で表示。経過による変化も客観的に把握することができます。

患者さんへの説明にも有効です。

画像解析と可視化のしくみ

咬合採得した印象体を上部照明と下部照明からそれぞれ撮影。光の透過率から接触部位及び印象体の厚みを解析し、画像を合成して表示します。



選べる咬合接触検査材

ジーシー バイトアイに最適化された付加型シリコンとワックスの2種類の咬合接触検査材から、特性に応じてお選びいただけます。

素材	精度の高い咬合接触状態の採得にシリコン系	簡易的な咬合接触状態の採得にワックス系
検査材	ジーシー ブルーシリコン ローフロー ジーシー ブルーシリコン	ジーシー バイトアイワックス
簡便さ	○	
精密さ		
口腔内保持時間	約60秒	0~30秒
採得済み検査材の長期保管		
計測データの互換性	バイトアイワックスとの互換性なし	ブルーシリコンとの互換性なし
その他	硬化時間 23) ジーシー ブルーシリコン ローフロー: 2分15秒 ジーシー ブルーシリコン: 2分45秒	ジーシー バイトアイワックスは、湯煎による軟化状態での使用をお勧めしていますが、目的などに応じて常温で使用することもできます。



ジーシー バイトアイにコンピュータは付属しません。



PCとの接続システムを採用し、さらに便利に

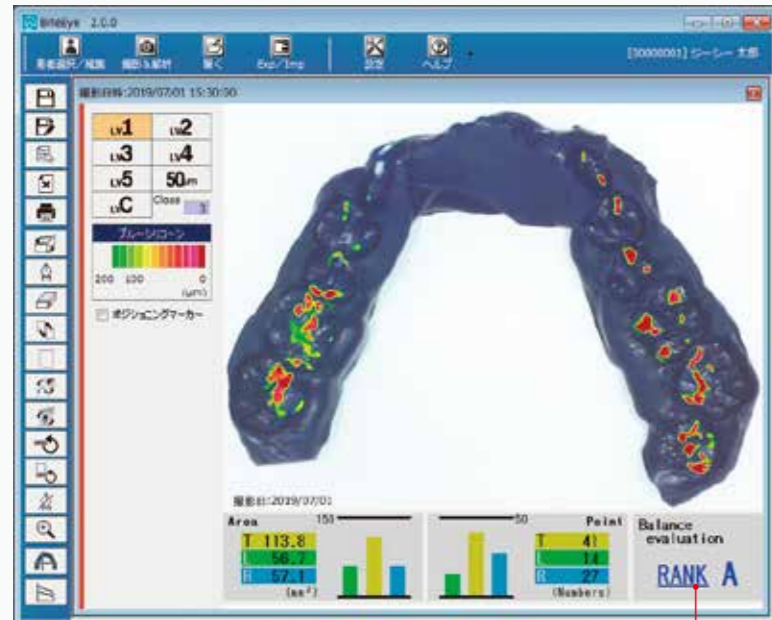
Windows PCとの接続システムにより、データの閲覧・管理も容易になりました。プレゼン資料作成にも便利な画像キャプチャ機能などを装備しました。

登録患者を選択した状態で、連続撮影や複数データの参照・比較が可能。使いやすさを向上しました。

バイトアイに接続したPCから、院内ネットワークを通してチェアサイドでのモニタ表示、データ保存が可能。患者さんへすぐにわかりやすく説明できます。

多彩な機能で咬合接触状態を可視化

咬合接触部位を印象体の厚みに応じて色分けし表示することにより、咬合接触状態を一目で明確かつ詳細に把握することができます。領域の指定や着色範囲の変更なども、簡単に切り替えが可能です。



咬合接触の強さを色分け表示

ジーシー ブルーシリコンを用いて採得したバイトの咬合接触部位(200μm)およびジーシー バイトアイワックスを用いて採得したバイトの咬合接触部位(360μm)を、厚さに応じて色分けして表示、観察することができます。

ジーシー ブルーシリコン				ジーシー バイトアイワックス			
レベル	Class	厚み(μm)	色	厚み(μm)	Class	レベル	
	1	180~200					
	2	150~179					
lv1 149μm以下	3	130~149		330~360	1		
	4	110~129		300~329	2	lv1 330μm以下	
	5	90~109		270~299	3		
lv2 89μm以下	6	70~89		240~269	4	lv2 270μm以下	
	7	60~69		210~239	5		
lv3 59μm以下	8	50~59		180~209	6		
50μm 49μm以下	9	40~49		150~179	7	lv3 180μm以下	
	10	30~39		120~149	8		
lv4 29μm以下	11	20~29		90~119	9		
	12	10~19		60~89	10	lv4 90μm以下	
	13	5~9		30~59	11		
lv5 4μm以下	14	0~4		0~29	12	lv5 30μm以下	
	15				13		

[可視化レベル設定]ボタンに対するクラスの初期値(変更可能)、
[lvC]任意のクラスを選択し、表示・解析します。

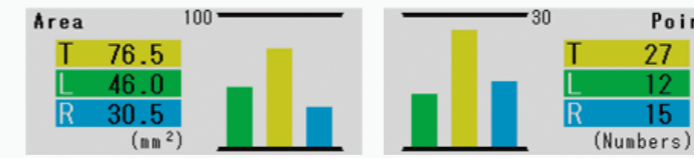
多彩な解析機能を搭載

4画面表示、一部領域指定解析、拡大表示、左右領域指定解析、咬合接触点追加、ノイズ除去、可視化レベルの設定、咬合接触面積表示、咬合接触面積データ出力、表示画面出力、解析データエクスポート/インポート



咬合接触面積・接触点を数値とグラフで表示

咬合接触面積と接触点数を数値とグラフで表し、それぞれ全体と左右のバランスを表示します。



用途に合わせて、選べるプリント機能

研究用プリント

咬合接触点像の等倍印刷機能
新たに透明なフィルムシートへの咬合接触点像のみの等倍印刷が可能となり、任意の厚みによる咬合接触状態をスタディモデルの咬合面に重ね合わせることで、咬合接触部位を咬合面上に正確に再現、そして咬合接触状態を正確に比較することができるようになりました。



患者さん向けプリント

解析結果の画像の他、必要な項目を選んで印刷が可能です。

